

平成25年度「男女共同参画推進協議会」開催報告

平成26年3月12日(水)～13日(木)
於・学術総合センター

平成26年3月12日(水)、13日(木)に東京・竹橋の学術総合センターにおいて「男女共同参画推進協議会」を開催いたしました。今回の協議会では、各高専の男女共同参画取組責任者等67名が一堂に会し、より一層男女共同参画を推進するために、各学校及び機構本部が、それぞれ果たすべき役割を認識して、密接な連携のもとに取り組むべき具体的方策について協議を行いました。



★協議会会場



主催者挨拶として、国立高等専門学校機構小畑秀文理事長より本協議会への多数の

参加への謝辞が述べられ、一人ひとりの意識改革をし、女性の力をより大きく活用できる社会を目指し、高専機構が先陣を走っているステータスを1日でも早く達成できるようこの協議会の場が役に立つことを願っているというお話がありました。

続いて、文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課 藤江陽子課長より、男女共同参画推進のため各学校および組織全体として積極的に取り組んでいることへの謝辞と多様な幅広い取組を総合的・継続的に活動していく期待が述べられ、女性の活躍推進に関する政府の方針や施策、高等教育における男女共同参画の現状などの説明がありました。



次に、京都大学大学院文学研究科 伊藤公雄教授による『男性にとっても男女共同参画』と題された特別講演が行われました。前半では、日本社会の現状と過去、国際社会と日本との比較などを中心に、後半では、問われる男性の意識改革など男性対象とした男女共同参画についてを中心に説明があり、男性側から考える男女共同参画推進の新たな視点に気づかされ、参加者は熱心に耳を傾けていました。



続いて、国立高等専門学校機構男女共同参画推進委員会委員長 岩熊まき理事より高専機構の男女共同参画推進への期待についてと、グループ討議開講挨拶がありました。そして、国立高等専門学校機構本部事務局 矢野由美次長(男女共同参画推進室長)より配付資料の説明のあと、参加者はAからEグループの部屋に分れ、それぞれのテーマについて討議を行いました。グループ討議では、課題解決案をとりまとめ、実現可能性の高いプランを作成する場を設けました。各テーマの進行役のもと、テーマに沿った活発な意見交換が行われ、協議会1日目が終了しました。



<グループ討議テーマ>

- A：女子学生の比率向上及びキャリア形成支援の取組について
- B：女性教職員の比率向上及びキャリアアップ支援の取組について
- C：学生指導における男女共同参画推進の取組について
- D：高専における仕事と家庭の両立支援の取組について
- E：高専における男女共同参画に対する意識改革について



★グループ討議の様子

本協議会2日目は、男女共同参画推進モデル校5校(釧路、群馬、富山、奈良、沖縄の各高専)における取組事例発表からはじまりました。モデル校として実施した各種イベント、広報・啓発活動、教職員への支援等についてを、各校の発表者から配付資料、スライドを通して参加者に対し情報提供が行われました。



★推進モデル校事例発表

次に、東北大学大学院文学研究科 沼崎一郎教授による『デートDVとは何か？－恋愛と暴力を間違える若者たち－』と題された特別講演が行われました。講演では、DV被害者のDVDからはじまり、DVの現状や加害者の特徴などをスライドを通してご紹介いただきました。参加者からは、学校に戻って学生にも伝えたいという声が多数ありました。



続いて行われた全体会（グループ討議発表）において、前日のグループ討議内容についてグループ発表が行われました。各発表内容を通し、各高专における男女共同参画の課題を再認識し、各高专における更なる男女共同参画への取組が期待できることを感じられました。



★各グループからの発表



最後に、国立高等専門学校機構男女共同参画推進委員会委員長 岩熊まき理事より本協議会2日間を通し、男女共同参画の本質的な問題を考えさせられる会であったことに言及され、当たり前を見直すことや男性だけでなく、女性の意識改革も含め、各学校・地域でのさらなる男女共同参画推進が進んでいくことを期待するという激励のお言葉がありました。